

基礎目標	健全で次世代型の経営体をつくる	第1四半期
------	-----------------	-------

重要目標達成指標・KGI		合計特殊出生率		基準値：1.35		目標値：1.50		実績値：1.11	
		20～30 歳代の移住者		基準値：一組		目標値：100 組		実績値：87 組	
区分	成果指標・KPI		単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期		
成果指標	財政力指数		—	0.563	0.595	0.545 (R6)	+0.005		
政策 1	①財政調整基金残高		億円	8.8	9 億円以上	15.8 (R6)	△0.3		
	形式収支計画値・決算値比較		億円	+3.4	±0.5 以内	+2.3 (R6)	+3.7		
	②ふるさと納税額（個人版・企業版）		万円	3,576.8	15,000	3,219	+1,664		
	町税徴収率		%	92.51	94.00	39.29	△1.63		
政策 2	①経常収支比率		%	89.0	92.0 以内	86.6	△2.4		
	②包括連携協定数		件	4	12	15	+3		
	③行政手続の電子化数		件	—	60	33	+3		
	④職員に対する住民満足度の割合		%	79.8	85.0	82.7 (R6)	+1.2		
政策 3	①地域社会づくりに向けた話し合いの場の設置数		件	—	5	4	－		
	②町民活動団体データベース登録数		団体	—	45	21	+16		

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
1 ①財政調整基金残高は、年度移行を行った結果、15.8億円となった。また、1回目の事業費推計を行うとともに、令和6年度下半期の財政状況を町のHPで公開した。次期財政計画の策定と並行し、公共施設の今後の方向性について検討を進める準備を行った。 ②ふるさと納税額は、個人が1,792件で2,689万円、企業が6件で530万円であった。町税徴収率は、前年同期で△1.63%。催告554件、差押29件（うち、換価は17件）を実施した。 2 ①経常収支比率は、前年比△2.4%となった。職員の定員管理は、10月採用の募集（応募者9名）、早期退職者の募集、60歳到達職員の次年度の勤務意向確認の他、次年度採用職員募集要項を公開した。 ②包括連携協定をしている日本体育大学荏原高校の発案によって菜の花桜まつりでのドックランを運営した。また同校とは、今年度の連携事項について協議を行った。 ③行政手続きの電子化は、町HPへのチャットボット登載、税務課における窓口申請の電子化に向けた実践的な研修の実施、よろず相談においてデジタル地域通貨に関しての対応、基幹系システムの標準化やガバメントクラウドに関して事業者との打合せを実施した。施設予約は電子化されており、第1四半期の利用数は2,925件。 ④職員に対する住民満足度に関しては、職員研修を16件、40人の受講を実施した。また、個人目標の設定やそれに基づく面談を行った。DX推進に向けた職員意識把握のため、係長以下の職員にアンケートを実施し参考とした。 3 ①話し合いの場づくりは、旧大羽小学校区で実施。旧大羽小、旧山本小、旧小宅小学校区で、かわら版を発行、各自治会長に現状や他自治会との関係等についてヒアリングを行った。 ②データベース登録団体数は、前年度末と変わりはないが、前年同期では16団体の増となっている。団体情報の集約や、先進地事例の情報収集を行った。	1 ①事業費推計については、結果の分析、各課ヒアリング、査定を実施し、歳入側の推計を行う。公共施設総合管理計画の指針については、庁内連携のもと、現状分析等の情報収集を進める。財政状況については、決算関係の資料の作成や公表を行う。税の徴収については、現年催告の強化や生活状況の把握をし、搜索、公売などの滞納処分を行っていく。 ②体験型返礼品の充実やイチゴの需要増に備えて、経費の調査や見直しをしていく。 2 ①昨年同様、芳賀地区共同採用試験を実施するとともに、定年延長制度の運用を行っていく。 ②益子町を題材とした探求事業、文化祭での益子の特産品の販売やPR、廃棄食材を利用した食堂の運営などの提案がでてきているが、これらを実現できるように関係各所との打合せを行っていく。 ③チャットボットは引き続き搭載し、町公式SNSへの記事掲載を拡充する。また、オープンデータ公開の仕組みを構築し、利用に際して庁内への周知を図っていく。DXに関しては、よろず相談を毎月実施していく。RPA、AI-OCRの導入については、業務改革できるかを検討したうえで実装できるかを判断していく。また、9月に予定している基幹系システムの標準化については、事業者との密な打合せと連携を図りながら進めていく。 ④住民満足度を上げていくために、引き続き研修を実施していくとともに、計画的な職員の採用を検討していく。また、個人目標に対する評価制度に修正点が見つかれば、これに対処していく。 3 ①自治会長が交代となったため、改めてヒアリングを行ったが、今後は町の支援の在り方について検討していく。 ②データベースの登録団体数は、適宜確認していく。

基礎目標		健全で次世代型の経営体をつくる				第2四半期
重要目標達成指標・KGI		合計特殊出生率		基準値：1.35	目標値：1.50	実績値：1.11
		20～30歳代の移住者		基準値：一組	目標値：100組	実績値：93組
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	財政力指数	—	0.563	0.595	0.545 (R6)	+0.005
政策1	①財政調整基金残高	億円	8.8	9億円以上	15.7	△0.3
	形式収支計画値・決算値比較	億円	+3.4	±0.5以内	+2.3 (R6)	+3.7
	②ふるさと納税額（個人版・企業版）	万円	3,576.8	15,000	7,326	+4,353
	町税徴収率	%	92.51	94.00	59.39	+0.31
政策2	①経常収支比率	%	89.0	92.0以内	86.6	△2.4
	②包括連携協定数	件	4	12	15	+1
	③行政手続の電子化数	件	—	60	33	+3
	④職員に対する住民満足度の割合	%	79.8	85.0	82.7 (R6)	+1.2
政策3	①地域社会づくりに向けた話し合いの場の設置数	件	—	5	4	+2
	②町民活動団体データベース登録数	団体	—	45	21	+6

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
1① R6年度の一般財務書類（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産返変動計算書・資金収支計算書）等の決算関係書類を作成し、決算審査において説明した。また、議会の決算認定後、公表を行った。R6年度の決算を踏まえ、各課の事業推計結果を推計するとともに、財政計画の策定に向けた各課事業費推計の精査を依頼した。 収納率の現状は59.39%で、前年比+0.31となっている。財産調査は51,843件、差押38件のうち、換価が14件、自主納付が2件であった。 ② ふるさと納税の現状は7,326万円で、期間中の個人の件数は1,956件で3,777万円、企業は9件で330万円であった。 2① 経常経費比率は、実績値86.6%で前年同期と比較して△2.4%の減となった。 ② 包括連携協定は、実績値が15で、前年同期比較して+1となった。明治安田生命の寄付申込のほか、日体大荏原高校と連携協定について打合せを実施したほか、荏原高校の学校祭に益子が農産物の出店等を実施した。 ③ 行政手続きの電子化は、福祉子育て課の予防接種の予約受付、税務課における過誤納金還付に関する相談及び紙ベースの請求書をAI-OCRを使用しデータ化した。また総務課より、不在者投票に関して相談を受けた。また、スマホ教室開催の講師と打合せを持った。 ④ 職員に対する住民満足度の割合は、82.7%（R6）で、前年同期に比べ+1.2となった。 3① 地域社会づくりに向けた話し合いの場の設置数は、実績値で、前年同期と比べ+2となった。この四半期では「いきもの調査取材」として、大平環境保全会と県水土里ネット「とちぎ調査隊」、あしぬま自然環境保全会と小宅東育成会を取材した。「かわら版」は、旧小宅小学校区（2回）・旧山本小学校区、旧大羽小学校区で発行した。 ② 町民活動団体データベース登録数は、実績値で21で、前年同期と比較して+6となった。	1① 決算剰余金を1.9億円積立できたため、残高は17.7億円となった。一方、9月補正で2億円の一般会計繰入を予算化したため、年度末見込は15.7億円となった。今後の補正予算も見越した中で、事業費推計も視野に入れて次年度に向けて適切に点検と運用を行っていく。公共施設総合管理計画の推進については、事業費推計の中から施設関連費用の点検までは実施できたが、更なる情報の収集が必要であるため、財政計画の策定と併せて検討を進めていく。 ② 昨年度と比べて、大幅に増額となっているが、制度変更直前の駆け込み需要によるものやマッチングサービスを利用したことも要因と考えている。現在、返礼品の魅力アップに向けた事業者向けの勉強会も実施している。 2① 当期では、財政計画の一次推計までを行ったが、ヒアリングや査定については、R6年度決算を踏まえた二次推計を行うため、第三四半期において、第二次推計の依頼から査定までを行う。また、推計にない個々の事務の改廃については、当初予算の編成に併せて検討する。 ③ LoGo フォームを利用し、一部の課において業務の改善がみられてきた。引き続きよろず相談を行っていく。また、町民向けのスマホ教室も実施予定で、資料の作成や周知を図っていく。また、最寄りのコンビニにおいても公的書類の発行ができることを十分に周知していく。 ④ 引き続き、計画的な研修と採用を検討していくとともに、評価制度に対する職員の疑問点等に説明を継続していく。 3① 今後は、旧小宅小学校区で各自治会にヒアリングしながら「くらしのガイド」の作成を進める。 ② 今後も町民団体やボランティア団体等の情報収集方法及び内容の検討を行うとともに、各課に情報提供を依頼し、第四四半期に町のホームページ内に掲載する予定。

基礎目標	健全で次世代型の経営体をつくる	第3四半期
------	-----------------	-------

重要目標達成指標・KGI		合計特殊出生率	基準値：1.35	目標値：1.50	実績値：1.11		
		20～30 歳代の移住者	基準値：－組	目標値：100 組	実績値：98 組		
区分	成果指標・KPI		単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	財政力指数		—	0.563	0.595	0.539	△0.006
政策 1	①財政調整基金残高		億円	8.8	9 億円以上	15.8 (R6)	△0.3
	形式収支計画値・決算値比較		億円	+3.4	±0.5 以内	+2.3 (R6)	+3.7
	②ふるさと納税額（個人版・企業版）		万円	3,576.8	15,000	12,140	+5,379
	町税徴収率		%	92.51	94.00	80.32	+0.69
政策 2	①経常収支比率		%	89.0	92.0 以内	86.6 (R6)	△2.4
	②包括連携協定数		件	4	12	15	+0
	③行政手続の電子化数		件	—	60	33	+3
	④職員に対する住民満足度の割合		%	79.8	85.0	82.7 (R6)	+1.2
政策 3	①地域社会づくりに向けた話し合いの場の設置数		—	—	5	4	+1
	②町民活動団体データベース登録数		団体	—	45	20	△1

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
1 ①令和8年度から17年度を計画期間とする財政計画の策定が完了した。事業費推計については、維持費用を精査することができ、令和8年度予算要求及びヒアリングを実施し、副町長査定までできた。財政状況については、予定どおり公表できた。 ②ふるさと納税については、寄付額アップを狙いとして、東京の飲食店において期間限定で益子の米を提供した。また、体験型ふるさと納税ゴルフコンペを開催し、寄付につなげることができた。 町税の徴収率は、前年同期と比較して若干の上昇を見せている。搜索においては、財産の発見には及ばなかった。公売については、入札後に納税義務者から納付があった。 2 ②包括連携協定関係については、日体大荏原高校の生徒9名と教諭1名が、大林寺「うまいもん市」において益子焼の販売に協力。 ②栃木県建築士会との災害時対応に向けた連携協定を締結した。 ③行政手続きの電子化を進めるため、職員向けのよろず相談を実施しているが、今期においては3件の相談があった。一方、デバイド対策として実施した町民向けスマホ教室は、5回の実施で169人の参加があった。 行政システムの標準化においては、委託業者との連携を図ることでスムーズな移行ができた。また、かんたん窓口を設置することによって、一定の作業時間の短縮につながっている。更に、キャッシュレス化においても、グループチャットを通じて、情報の共有化を図っている。 ④今期は、8件の職員研修を行い、18人が参加した。DX関係では、CDO補佐官との定例ミーティングの中で、職員のデジタル人材について打ち合わせを行った。 3 ①旧大羽、山本、小宅小学校区でかわら版を発行した。	1 ①計画の目標達成に向け、先も見据えた事業費の適正化や各施設の在り方の検討も計画的に進めていく。また、費用以外の情報についても収集し、専門家の助言も踏まえながら進めていく。 ②昨年同期と比較して、順調な伸びを示しているが、ピークを過ぎたため今後は減少の時期となってくるが、情報の発信を継続していく。また、ふるさと納税額制度の改正等についても注視し、対応できるようにしておく。 町税の徴収は、年度計画に従って実施していくとともに、滞納者の生活実態の把握や安定した納税へと導くためにも、新たな徴収方法について検討していく。 2 ②次期四半期は、次年度以降の連携について打合せを行っていく。 ③よろず相談は、今までどおり継続していくが、業務改善手順書（BPR）の作成にあわせて、RPAやAI-OCRの活用について検討していく。スマホ教室は、次年度においても国の事業を活用していく。 行政システムの標準化以降も安定した事務ができるよう、引き続き委託業者との連携を継続していく。また、かんたん窓口をできるだけ利用していただけるよう促していくとともに、コンビニ交付の活用に結びつけるようにしていく。 ④研修については、引き続き実施していく。DX関係では、人材育成計画策定のため、全庁的な取り組みを進めていく。また、窓口受付時間の方向性を検討していく。 3 ①継続してかわら版を発行していくとともに、引き続き旧小宅小学校区で暮らしのガイドを作成する。

基礎目標	健全で次世代型の経営体をつくる	第4四半期
------	-----------------	-------

重要目標達成指標・KGI		合計特殊出生率		基準値：1.35		目標値：1.50		実績値：1.13	
		20～30 歳代の移住者		基準値：一組		目標値：100 組		実績値：107 組	
区分	成果指標・KPI			単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期	
成果指標	財政力指数			—	0.563	0.595	0.539	△0.006	
政策 1	①財政調整基金残高			億円	8.8	9 億円以上	16.7	+0.9	
	形式収支計画値・決算値比較			億円	+3.4	±0.5 以内	+0.8	△1.5	
	②ふるさと納税額（個人版・企業版）			万円	3,576.8	1 億 5,000	2 億 440	+7,770	
	町税徴収率			%	92.51	94.00	94.59	△0.13	
政策 2	①経常収支比率			%	89.0	92.0 以内	88.1	+1.5	
	②包括連携協定数			件	4	12	15	±0	
	③行政手続の電子化数			件	—	60	33	+3	
	④職員に対する住民満足度の割合			%	79.8	85.0	83.9	+1.2	
政策 3	①地域社会づくりに向けた話し合いの場の設置数			件	—	5	5	+2	
	②町民活動団体データベース登録数			団体	—	45	20	△1	

実施内容・成果の総括	以降の方針
1 ①財政調整基金については、残高 16.7 億円であり、目標を達成した。 ②第3四半期に制度変更に伴う駆け込み重要があったため、今期の寄付額としては減少した。しかし、3月末の実績としては2億440万円であり、計画目標を達成した。また、町税収納率については94.59%と前年同期比0.13%減となっているが年度目標値を達成した。 2 ①予算編成方針に元づきR8当初予算の査定を行った。 ②協定先のひとつ明治安田生命とR8の協定による取り組み内容について、情報交換を実施。 ③組織内のBPRについて各課との相談会を実施した。 ④職位に応じ、芳賀広域行政や市町村振興協会などの研修を受講させた。また、人事評価結果についてフィードバックを実施。 3 ①モデル地区のひとつ、旧小宅小学区の5自治会について、地域の情報をまとめた「くらしのガイド」を発行し、自治会内に詳細な情報を発信するとともに、移住者への情報共有にも活用する。	1 ①R8年度当初予算において3.3億円を取り崩す予定であり、今後も図書館建設や産業団地整備など大きな事業を控え、事業実施を見据えた基金の管理を行う。また、形式収支の決算時比較に向け決算処理を進める。 ②企業版ふるさと納税について外部の紹介サイトの活用と、物納での受け入体制強化を進める。また、町税徴収率については、出納閉鎖に向けて現年分の催告を実施するとともに、滞納繰越分について、執行停止処理及び不能欠損処理に向けた該当者の洗い出し、欠損処理を行う。 2 ①「益子町総合振興計画2026-2030」に基づき、事業の取捨選択を行う。 ②協定を活かせる取組について検討を進める。 ③現在組織内で行っている業務手順書作成及び他自治体との比較検討と合わせて、事務効率化に向け活用できるデジタル技術等について検討を進める。 ④R8年度も職員研修と人事評価を実施するとともに、働き方改革と行政サービスの維持について内部で検討を進める。 3 ①地域の意見を聞きR8年度以降の支援について検討を進める。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【計画・実施状況シート】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	総合政策課						
基礎目標	5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	将来負担の予測と対策手法の準備						
施策	必要経費を高い精度で予測する		進捗状況	100%						
関連する優先目標	—		関連するSDGs	—						
KPI	財政調整基金残高		本年度目標値	9億円以上	現状値	16.7	億円	対前年同期比	+0.9	億円
KPI	形式収支計画値・決算値比較		本年度目標値	±5,000万円以内	現状値	+0.8	億円	対前年同期比	△ 1.5	億円
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
			①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果				
主な取組内容	4月	①出納整理期間(4～5月)終了後、令和6年度決算処理及び関連資料の作成への着手、並びに決算剰余金の処分(財政調整基金への積立及び翌年度一般財源として繰越)を行う		①旧年度から新年度へ基金の移行処理を行った。 財政調整基金年度末残高は15.8億円となった。						
	5月	①次期総合計画の策定と並行して、令和8～17年度を計画期間とする次期財政計画の策定に向け、各課による事業費推計(第一次)を実施する		①各課にR8～17年度の事業費推計(第一次)を依頼した。 ②公共施設総合管理計画の推進等に関する専門家による技術的支援の申込手続きを行った。 ③令和6年度下半期の財政状況を町ホームページで公表した。						
	6月	②次期財政計画の策定と並行して、公共施設それぞれの維持・廃止の方向性についての検討を具体的に進めるため、専門家による技術的支援を受けるための準備手続きを行う ③財政状況(令和6年度下半期)の公表		①実質収支に関する調書の作成等の決算事務及び決算関連資料の書類の作成、並びに決算剰余金の処分を行った。 ①各課の事業費推計(第一次)結果を取りまとめた。 ②公共施設総合管理計画の推進等に関する専門家との打合せを行った。						
	7月			①一般会計等の財務書類の作成に着手した。						
	8月	①決算関連資料の作成・分析 ①事業費推計(第一次)結果の分析、担当課ヒアリング、査定の実施 ②公共施設総合管理計画の推進(施設所管課と連携し、施設それぞれの現状把握の実施)		①R6年度一般財務書類(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)等の決算関係資料を作成し、決算監査において説明した。 ②公共施設総合管理計画の推進等に関する専門家との打合せを行った(事業費推計結果の共有等)。						
	9月	③決算関連資料の議会報告、町ホームページ等での公表		③R6年度一般財務書類等の決算関係資料について、9月議会において説明し、決算認定後公表した。 ①R6決算を踏まえ、各課の事業費推計(第一次)結果を点検した。また、財政計画の策定等に向け、各課に事業費推計の精査(第二次推計)を依頼した。						
	10月	①事業費推計(第二次)の実施、推計結果の分析・査定等の実施、次期財政計画の策定		①事業費推計(第二次推計)のヒアリング及び査定(第一次)を実施した。またその結果を踏まえ、令和8年度予算編成方針の策定に着手した。 ②公共施設総合管理計画の推進等に関する専門家との打合せを行った。						
	11月	②第2四半期に引き続き、公共施設総合管理計画の推進(施設それぞれの現状把握の実施) ③財政状況(令和7年度上半期)の公表		①事業費推計及び査定(第一次)を踏まえ、次期財政計画の策定に着手した(査定は継続して実施)。また、令和8年度予算編成方針を策定し、各課に通知した。 ③令和7年度上半期の財政状況を町ホームページで公表した。						
	12月			①事業費推計の査定を引き続き実施し、財政計画を策定した。また、令和8年度当初予算の要求・ヒアリング・副町長査定を実施した。						
	1月			①令和8年度当初予算の査定を行った。						
	2月	①次年度当初予算の査定及び編成 ②公共施設それぞれの現状把握結果の分析、維持・廃止の方向性を決定するための手法や工程等の検討		①令和8年度当初予算の編成を行い、記者発表を行った。 ②公共施設総合管理計画の推進等に関する専門家との打合せを行った。						
	3月	③次年度当初予算関連資料の作成、町ホームページ等での公表		②令和8年度当初予算に計上した公共施設再編検討事業の進め方について検討した。 ③令和8年度当初予算の説明資料「ましこの予算」を作成し、公表した。また、令和8年度当初予算を広報ましこ(4月号)に掲載し、公表した。						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1四半期	①決算剰余金の処分に伴う財政調整基金の積立金は190,000千円、繰越金は179,181千円となった。積立金は前年度比7千万円の増であり、財政調整基金の年度末残高は15.8億円となり、第3期まじこ未来計画の目標値(9億円以上)を達成することができた。また、繰越金は予算額100,000千円に対し79,181千円の増となった。 ①事業費推計(第一次)については、各課の推計結果の取りまとめが完了した。第2四半期では、結果の分析や担当課ヒアリング、査定を実施するとともに、歳入側の推計を行う。 ②公共施設総合管理計画の推進については、予定どおり進んだ。第2四半期以降では、関係課とも連携し、現状分析等の情報収集を進めていく。 ③財政状況については予定どおり公表できた。第2四半期では決算関連資料の作成・公表を行う。
第2四半期	①今期は決算剰余金を1.9億円積立てたため、財政調整基金残高は17.7億円となった。一方で、9月補正後の財政調整基金繰入金の予算額は2.0億円であるため、年度末残高の見込みは15.7億円となっている。今後の補正予算も見越したうえで、目標達成に向け適切な運用を図っていく。 事業費推計(第二次)については、一次推計の結果を点検したうえで、当期に各課に推計を依頼しており、R8～17年度を計画期間とする財政計画の策定および当初予算の編成に向け、第3四半期において各課ヒアリング・査定を行う。 ②公共施設総合管理計画の推進については、事業費推計(第一次)における施設関連費用の点検までは実施できたが、現状分析等の情報収集については、さらなる情報収集が必要な状況である。今後は財政計画の策定と併せて、施設関連費用の在り方について検討を進めていく。また、引き続き、関係課とも連携し、現状分析等の情報収集を進めていく。 ③決算関連資料については予定どおり公表できた。第3四半期では、第1四半期同様財政状況について公表を行う。R6年度財務書類については、次期以降、令和6年度全体財務書類、連結財務書類の作成作業を行う。公表についても作成後随時行う。
第3四半期	①令和8～17年度を計画期間とする次期財政計画の策定が完了した。今後は計画の目標達成に向け、令和8年度当初予算の編成を進めていくと共に、後年度も見据えた各事業費の適正化や各施設の在り方の検討等について、計画的に進めていく。 ①令和6年度全体財務書類については本四半期での作成が完了しなかったため、次期四半期中の公表に向け作成作業を継続していく。また、令和6年度連結財務書類については、関係機関からの資料がそろい次第作成作業を進めていく。 ②施設それぞれの現状把握については、事業費推計(第二次)において今後の維持費用を精査することができた。今後は費用以外の面についても情報収集を進めていく。公共施設総合管理計画の推進については、専門家の助言も踏まえ、財政計画の策定と併せて施設維持費用の在り方についても検討し、次期財政計画及び次期総合振興計画に基づき、各公共施設の運用の方向性について具体的な検討を進めていく。 ③財政状況については予定どおり公表できた。第4四半期では令和8年度当初予算関連資料の作成・公表を行う。
総括(第4四半期含)	①財政調整基金残高については、16.7億円であり、目標値の9億円を大きく上回った。また、前年度同期比では0.9億円の増となった。一方で、次年度当初予算では3.3億円を取り崩す予定となっており、また、今後は図書館建設事業や産業団地造成事業等の大型事業も予定されているため、地方債の活用も含めて基金の適正管理に努めていく。形式収支計画値・決算値比較については、令和7年度決算後の検証となるため、まずは決算事務を進めていく。 ①財務書類については、令和6年度から下水道事業会計が公営企業会計となったことに伴い、システム処理に当初想定よりも時間を要したため本四半期で完了しなかった。次年度第1四半期での公表に向け、作業を進めていく。また連結財務書類については、関係機関からの資料がそろい次第作成作業を進めていく。 ②公共施設総合管理計画の推進等については、専門家との打合せや現状把握の結果を踏まえ、また次期総合振興計画に基づき、令和8年度からは業務委託により専門業者の支援を受けながら、公共施設の再編に向けた検討を進めていくこととする。 ③次年度当初予算関連資料については予定どおり公表できた。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 財政調整基金は16.7億円であり、目標値を達成しておりますが、今後も図書館建設や産業団地などの大型事業等予定を含め、今後も適正に管理に努めて下さい。	総括(第4四半期含)のとおり進めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】				課局名	税務課						
基礎目標		5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	将来負担の予測と対策手法の準備						
施策		財源の獲得手段を多様化する		進捗状況	85%						
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—						
KPI		ふるさと納税額		本年度目標値	1億5,000	現状値	2億440	万円	対前年同期比	+7,770	万円
KPI		町税徴収率		本年度目標値	94	現状値	94.59	%	対前年同期比	△ 0.13	%
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な 取組 内容	4月	②財産調査、現地調査随時実施(通年) ②町県民税等督促状発送(随時分)			②財産調査:19,394件 催告435件、差押17件(うち換価7件、自主納付7件、解除1件) 督促状発送件数:62件						
	5月	②固定資産税,軽自動車税納税通知書発送 ②町県民税(給与特別徴収) 発送 ②町県民税等督促状発送(随時分)			②財産調査:19,988件 町県民税(特別徴収):2,544件、調定額(特)682,899,700円 軽自動車税:11,712台、調定額:87,864,100円 固定資産税:10,442件、調定額:1,179,924,400円 催告68件、差押5件(うち換価4件) 督促状発送件数:52件						
	6月	②町県民税納税通知書発送 ②固定資産税,軽自動車税督促状発送(1期分) ②町県民税等督促状発送(随時分)			②財産調査:9,165件 町県民税(普通徴収):4380件、調定額(普)164,872,200円、催告51件、差押7件(うち換価7件) 督促状発送件数:1,659件						
	7月	②町県民税督促状発送(1期分) ②国民健康保険納税通知書発送			②財産調査:45件 国民健康保険税:3,499件、調定額:513,090,060円 催告29件、差押8件(うち換価5件) 督促状発送件数:453件						
	8月	②固定資産税督促状発送(2期分) ②国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料督促状発送(1期分) ②現年催告書発送			②財産調査:22,903件 催告469件、差押19件(うち換価9件、自主納付1件、解除1件) 督促状発送件数:1,486件						
	9月	②町県民税,国民健康保険税介護保険料、後期高齢者医療保険料督促状発送(2期分) ②一斉財産調査の実施			②財産調査:24,796件(証券5社×60名) 催告14件、差押11件(うち自主納付1件) 督促状発送件数:1,071件						
	10月	②国民健康保険税督促状発送、介護保険料、後期高齢者医療保険料督促状発送(3期分) ②現年催告書発送			②財産調査:23,004件 催告539件、差押16件(うち換価8件、解除2件) 督促状発送件数:664件						
	11月	②固定資産税督促状発送(3期分) ②国民健康保険税督促状発送、介護保険料、後期高齢者医療保険料督促状発送(4期分)			②財産調査:56件 催告10件、差押13件(うち換価1件、解除1件) 督促状発送件数:1,355件						
	12月	②町県民税督促状発送(3期分) ②国民健康保険税督促状発送、介護保険料、後期高齢者医療保険料督促状発送(5期分) ②現年催告書発送(県と共同催告)			②財産調査:21,706件 催告320件、差押5件 督促状発送件数:962件						
	1月	②固定資産税督促状発送(4期分) ②国民健康保険税督促状発送、介護保険料、後期高齢者医療保険料督促状発送(6期分)			②財産調査:28,169件、出入国調査:4件 催告38件、差押8件(うち換価2件、自主納付2件) 督促状発送件数:1,208件						
	2月	②町県民税督促状発送(4期分) ②国民健康保険税督促状発送、介護保険料、後期高齢者医療保険料督促状発送(7期分)			②財産調査:2件 催告32件、差押2件(うち換価2件) 督促状発送件数:1,000件						
	3月	②国民健康保険税督促状発送、介護保険料、後期高齢者医療保険料督促状発送(8期分)			②財産調査:2件 催告42件、差押10件(うち換価2件) 督促状発送件数:565件						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	②4月末での収納率は、昨年度比0.11%増加、5月末では0.38%増加、6月末では1.63%減少(収入済額約40,000千円減少)となっている。主な理由としては、個人町民税が1.9%減少(収入済額20,000千円減少うち特別徴収分16,000千円)している。今後は、年度計画に基づいて現年催告を強化し、滞納処分を実施していく。また、納税相談においても滞納者の生活状況の把握に努め、安定した納税へと導いていく。 今年度の年間計画は、現年課税分の収納を強化するため、昨年度に引き続き、年間の催告を4回実施する。また、滞納分の収納を強化するため、財産調査を随時行い、そのほか、搜索を2回、公売を昨年度より1回増やし2回実施し、1回あたりの件数も増やす。
第2 四半期	②7月末での収納率は、昨年度比2.14%増加、8月末0.09%減少、9月末0.31%増加となっている。主な理由としては、現年度課税分が、昨年度比0.33%増加したためである。今後は、年度計画に基づいて、滞納処分を実施していく。また、納税相談においても滞納者の生活状況の把握に努め、安定した納税へと導いていく。
第3 四半期	②10月は公売、搜索を実施。公売の結果は0件ではあったが、公売前に完納1件、公売後に完納2件なった。また、同月に搜索1件を実施したが差押えするものは見つからなかった。 10月末での収納率は、昨年度比1.23%、11月末では△0.06%、12月末では0.69%となっている。今後は、10月、12月に実施した現年催告において反応がない滞納者に対して、財産調査を実施し、預金等の差押えを実施していく。また、年度計画に基づいて、滞納処分を実施していく。納税相談においても滞納者の生活状況の把握に努め、安定した納税へと導いくとともに新たな徴収方法を検討していく。
総括 (第4 四半期 含)	②1月末での収納率は、昨年度比△0.49%、2月末では△0.59%、3月末では△0.24%、4月末では△0.17、最終5月末では△0.13と減少が続いた。主な原因の税目の滞納原因を追求し次年度の徴収率増加につなげる。 2月中旬から3月中旬まで確定申告があったため、この期間においては財産調査や差押えなどの件数が落ち込むことが想定されたため、1月に集中的に財産調査等を行い、滞納処分を行った。 また、年度末における執行停止や不納欠損処理のため臨宅による現場確認や入国管理局に対して出入国調査を行うなど必要な情報の収集に努めた。 今後も、効率的な収納に向け、納付書での納付ではなく、手数料が他の収納方法より安価な口座振替の推進を図っていく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次半期(次年度)以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 ふるさと納税の目標値は達成され着実に増加しており、関係者の努力に感謝します。今後もあらゆる手段により、目標を達成して下さい。 町税徴収率は94.59%と目標を達成しました。次年度も税収徴収率増加に務めてください。	町税徴収率は、最終的に94.59%となり、本年度目標値を達成することができた。法令に基づき、引き続き徴収率向上に努めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】				課局名	観光商工課						
基礎目標		5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	将来負担の予測と対策手法の準備						
施策		財源の獲得手段を多様化する		進捗状況	100%						
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—						
KPI		ふるさと納税額		本年度目標値	1億5,000	現状値	2億440	万円	対前年同期比	+7,770	万円
KPI		町税徴収率		本年度目標値	94.00	現状値	94.59	%	対前年同期比	△0.13	%
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月	① 1. 返礼品の開拓・拡充および新規事業者の開拓 2. ふるさと納税PR 3. ふるさと納税制度ルールへの適正な対応 4. 企業版ふるさと納税PR			①◇個人版ふるさと納税【261件、4,416千円】 ◇企業版ふるさと納税【1件、100千円】 ◇財産貸付収入 588,000円、 ◇不動産売払収入 210,331円						
	5月				①◇個人版ふるさと納税【229件、4,801千円】 ・体験型返礼品醸成のため、ゴルフ場と打合せ実施 ・中間事業者とR6年度の振り返りとR7年度の戦略について打合せ実施 ◇企業版ふるさと納税【4件、5,100千円】 ◇財産貸付収入 60,000円、◇基金利子 2,833円						
	6月				①◇個人版ふるさと納税【1302件、17,673千円】 ・新規事業者登録 2件(イチゴ、砥石) ・体験型返礼品の新規登録(陶芸) ・制度厳格化への対応検討打合せ実施 ◇企業版ふるさと納税【1件、100千円】 ※財産収入の第1四半期累計額 1,053,108円						
	7月	① 1. 返礼品の開拓・拡充および新規事業者の開拓 2. ふるさと納税PR 3. ふるさと納税制度ルールへの適正な対応 4. 企業版ふるさと納税PR 5. ふるさと納税の9月ピーク(予想)に向けた対応 6. 登録事業者への説明会(ルール順守、魅力UP等)の実施			①◇個人版ふるさと納税【378件、6,543千円】 ◇企業版ふるさと納税【4件、1,000千円】						
	8月				①◇個人版ふるさと納税【909件、17,981千円】 ・返礼品事業者向け勉強会実施 ・返礼品事業者へルール厳守のための調査実施 ◇企業版ふるさと納税【1件、100千円】						
	9月				①◇個人版ふるさと納税【669件、13,249千円】 ◇企業版ふるさと納税【4件、2,200千円】						
	10月	① 1. 返礼品の開拓・拡充および新規事業者の開拓 2. ふるさと納税PR 3. ふるさと納税制度ルールへの適正な対応 4. 企業版ふるさと納税PR 5. ふるさと納税の12月ピークに向けた対応			①◇個人版ふるさと納税【1437件、36,568千円】 ・東京の飲食店で益子のお米を使用して期間限定で提供開始。農産物の認知向上とふるさと納税寄附UPを狙う ◇企業版ふるさと納税【なし】						
	11月				①◇個人版ふるさと納税【144件、3,823千円】 ・11/29現地体験型のふるさと納税ゴルフコンペ開催。当日76万円の寄附をいただいた ◇企業版ふるさと納税【なし】						
	12月				①◇個人版ふるさと納税【270件、7,643千円】 ◇企業版ふるさと納税【1件、100千円】						
	1月	① 1. 返礼品の開拓・拡充および新規事業者の開拓 2. ふるさと納税PR 3. ふるさと納税制度ルールへの適正な対応 4. 企業版ふるさと納税PR			①◇個人版ふるさと納税【824件、24,126千円】 ◇企業版ふるさと納税【1件、20,481千円】						
	2月				①◇個人版ふるさと納税【81件、2,104千円】 ◇企業版ふるさと納税【2件、1,100千円】						
	3月				①◇個人版ふるさと納税【101件、2965千円】 ◇企業版ふるさと納税【3件、300千円】						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①寄付額に関しては、前年同時期から約2.1倍となり、大幅増。全国的な米の需要の高まりからか、米の先行予約に集中したのが要因と考えられる。また、企業版ふるさと納税について、マッチング支援サービスの活用も行ったことによる増と考える。 体験型返礼品の充実のため、企画検討や事業者への説明を行った。また、イチゴも需要が高いため、イチゴの事業者の説明を重ねた結果、新規事業者登録に結びついた。次期イチゴのシーズンでの寄附増が期待される。 なお、国が個人版ふるさと納税の制度ルール厳格化対応により、法整備や各種調査を実施してきているため、次期四半期は経費の調査・見直しを含め、適正な運用に注力していく。
第2 四半期	①寄付額に関しては、前年同時期から約2.5倍となり、大幅増。今期は10月からの制度変更前の駆け込みおよび米の引き続きの需要により大幅に増となったと考えられる。また、企業版ふるさと納税も好調で、やはりマッチング支援サービスの活用も行ったことによる増と考える。 今期は国の制度のルール厳格化への対応や返礼品魅力アップに向け、返礼品事業者向けに勉強会を実施しており、ルールを厳守しつつ寄附額向上を目指している。 次期四半期は、駆け込み需要によるピークタイム変動の影響もあるため、前年同時期より寄附額が落ち込むと見込まれるが、年間を通して安定的な金額となるよう全国の状況を注視しながら適切に運用をしていく。
第3 四半期	①寄付額に関しては、前年同時期から約1.8倍となっている。 次期四半期についても、ピークタイム変動の影響もあるため、前年同時期より寄附額が落ち込むと見込まれる。今後国がふるさと納税上限額を設定するような情報もあるため、どのような制度改正にも対応できるよう、注視しながら適切に運用をしていく。 また、企業版ふるさと納税についても駆け込み需要があると見込まれるため、営業活動や情報発信を行っていく。
総括 (第4 四半期 含)	①寄付額に関しては、前年同期比+7,770万円となった。 10月の制度変更の際の駆け込み需要の反動により、寄付額は大幅に減少したが、全体としての寄付額は伸びた。 企業版ふるさと納税に関してはマッチング支援サイトを經由しての寄付相談が増加している。今後も外部の紹介サイトを活用し、寄付金だけでなく物納での受け入れ体制を拡大していく。 次年度もふるさと納税の制度変更(上限額設定や経費制限の見直し)の情報があるため、注視しつつ対応を図っていく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 着実に寄付額が増加し目標を達成しました。関係各所に感謝いたします。今後ふるさと納税の制度が変更が予想されますが、今後もあらゆる施策を行い、ふるさと納税の向上に努めて下さい。	総括(第4四半期分含)のとおり進めるとともに、制度変更に対し柔軟に対応していく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】				課局名	総務課						
基礎目標		5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	行政経営の最適化						
施策		事務事業及び事務分掌を見直す		進捗状況	100%						
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—						
KPI		経常収支比率		本年度目標値	92.0%以内	現状値	88.1	%	対前年同期比	+1.5	%
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)				②実施内容・実績・成果					
主な 取組 内容	4月	③職員の定数管理を適切に行う			③社会人を対象とした10月採用職員募集開始 ③早期退職者募集開始 ③年齢60歳到達する職員に勤務意思を確認						
	5月				③10月採用試験応募締め切り。一般事務9名申込。 ③芳賀地区共同採用試験打合せ(令和8年4月採用職員)						
	6月				③採用試験募集要項、HP、パンフレット作成(令和8年4月採用職員)						
	7月	③職員の定数管理を適切に行う			③10月採用1次試験 受験者9名。合格者9名。 ③採用試験案内を広報、HP上に公開。一般事務5名程度、保健師3名程度を募集。(令和8年4月採用職員) ③県内主要高校、大学等に試験案内を送付。益子芳星高校及び茂木高校に訪問。(令和8年4月採用職員)						
	8月				③10月採用2次試験 受験者9名。合格者5名。 ③採用試験応募締め切り。一般事務13名申込。保健師1名申込。(令和8年4月採用職員)						
	9月				③採用試験(1次)実施。受験者は一般事務13名。保健師1名(受験後辞退申出あり)。(令和8年4月採用職員)						
	10月	③職員の定数管理を適切に行う			③採用試験(1次)結果発表。合格者は一般事務8名。 ③採用試験(2次)実施。受験者は一般事務6名。 ③採用試験(2次)結果発表。合格者は一般事務4名。補欠者は一般事務1名。						
	11月				③合格者一般事務1名辞退。補欠者を繰上合格とした。						
	12月				なし						
	1月	③職員の定数管理を適切に行う			なし						
	2月				なし						
	3月				③R8年度に満60歳退職する方に向けた定年延長制度の説明書を配布。 ③新採職員オリエンテーションを実施						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	③本年度は町単独で社会人を対象とした10月採用職員を募集した結果、9名の申込みがあった。また昨年同様、芳賀地区共同採用試験も実施する。あわせて、定年延長制度の運用を行う。
第2 四半期	③10月新規採用職員として5名採用した。
第3 四半期	③令和8年4月新規採用職員として4名採用した。
総括 (第4 四半期 含)	③来年度の採用数について、定年延長の状況を踏まえるほか、10月に新規採用職員を公募するか等検討を続ける。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 職員の定数管理を行い、人材を確保して下さい。	次年度以降も職員の定数管理を踏まえつつ、人材確保へとつなげていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	総合政策課							
基礎目標		5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	行政経営の最適化						
施策		事務事業及び事務分掌を見直す		進捗状況	100%						
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—						
KPI		経常収支比率		本年度目標値	92.0%以内	現状値	88.1	%	対前年同期比	+1.5	%
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)				②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①事務事業のスクラップアンドビルドの推進のため、次期財政計画の策定に併せ、各課による事業費推計(第一次)を実施する			なし						
	5月				①各課にR8～17年度の事業費推計(第一次)を依頼した。(p.79の再掲)						
	6月				①各課の事業費推計(第一次)結果を取りまとめた。(p.79の再掲)						
	7月	①事業費推計(第一次)結果の分析、担当課ヒアリング、査定の実施により、事務事業のスクラップアンドビルドを行う			なし						
	8月				なし						
	9月				①R6決算を踏まえ、各課の事業費推計(第一次)結果を点検した。また、財政計画の策定等に向け、各課に事業費推計の精査(第二次推計)を依頼した。(p.79の再掲)						
	10月	①事業費推計(第二次)の実施、推計結果の分析・査定等の実施により、事務事業のスクラップアンドビルドを行う			①事業費推計(第二次推計)のヒアリング及び査定(第一次)を実施した。またその結果を踏まえ、令和8年度予算編成方針の策定に着手した。(p.79の再掲)						
	11月				①事業費推計及び査定(第一次)を踏まえ、次期財政計画の策定に着手した(査定は継続して実施)。また、令和8年度予算編成方針を策定し、各課に通知した。(p.79の再掲)						
	12月				①事業費推計の査定を引き続き実施し、財政計画を策定した。また、令和8年度当初予算の要求・ヒアリング・副町長査定を実施した。(p.79の再掲)						
	1月	①事業費推計にない事務事業について、次年度予算の編成の段階でのスクラップアンドビルドを行う			①令和8年度当初予算の査定を行った。(p.79の再掲)						
	2月				なし						
	3月				なし						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①事業費推計(第一次)については、各課の推計結果の取りまとめが完了した。第2四半期では、推計結果の分析や担当課ヒアリング、査定を実施するとともに、歳入側の推計を行う。(p.79の再掲)
第2 四半期	①当期では、第一次推計の結果の分析までを行ったが、担当課ヒアリングや査定については、R6年度決算を踏まえた上での第二次推計をもとに行うため、第3四半期において、第二次推計の依頼から査定までを行うこととする。 また、推計にない個別の事業の改廃については、当初予算の編成に併せて検討することとする。
第3 四半期	①財政計画の策定に当たり、持続可能な財政運営に向け、各課局による事業費推計の内容を査定した。 また、推計にない個別の事業の改廃については、当初予算の編成方針にて「全ての事務事業について、改めて担当課において費用対効果・労力対効果・目的対効果等を精査し、廃止や休止についても検討したうえで、必要な予算を要求する」事としたほか、同様の方針で予算の査定を実施した。次期四半期においても当初予算の編成作業が続くため、その中で引き続き検討を進めていく。
総括 (第4 四半期 含)	①第3四半期に引き続き、推計にない個別の事業の改廃について、予算編成方針に基づき予算の査定を実施した。今後は、次期総合振興計画に基づき、事業の取捨選択を推進していく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 すでに作成している「益子町総合振興計画(2026－2030)」に基づき、推進してください。	総括(第4四半期含)のとおり進めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	総務課							
基礎目標			5 健全で次世代型の経営体をつくる	政策	行政経営の最適化						
施策			民間の力を活用し、利便性の維持・向上を図る	進捗状況	100%						
関連する優先目標			—	関連するSDGs	17 ハートナリーシップ						
KPI			包括連携協定数	本年度目標値	12	現状値	15	件	対前年同期比	±0	件
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
			①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①包括連携協定を推進 ③窓口業務の一部に従事する者として、派遣業者に派遣を依頼			③税務課の窓口業務従事者の人材派遣を依頼						
	5月				なし						
	6月				なし						
	7月	①包括連携協定を推進			なし						
	8月				なし						
	9月				①包括連携協定を結んでいる明治安田生命から寄附申込あり						
	10月	①包括連携協定を推進			なし						
	11月				なし						
	12月				なし						
	1月	①包括連携協定を推進			なし						
	2月				なし						
	3月				①明治安田生命と次年度の取組について情報交換						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①包括連携協定は担当課との情報共有に努める。 ③窓口業務の民間委託について、引き続き検討する。
第2 四半期	①包括連携協定は担当課との情報共有に努める。
第3 四半期	①包括連携協定は担当課との情報共有に努める。
総括 (第4 四半期 含)	①包括連携協定は担当課との情報共有に努める。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 包括連携協定は目標を達成しており、今後も情報の共有を図り、推進してください。	次年度以降も包括連携協定を通して、庁内の情報の共有化や相互協力を図り、地域課題の解決や住民サービスの向上につなげていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【計画・実施状況シート】			課局名	観光商工課							
基礎目標		5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	行政経営の最適化						
施策		民間の力を活用し、利便性の維持・向上を図る		進捗状況	100%						
関連する優先目標		—		関連するSDGs	17パートナースhip						
KPI		包括連携協定数		本年度目標値	12	現状値	15	件	対前年同期比	±0	件
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)				②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①包括連携協定の締結相手である日本体育大学荏原高校との連携事業の実施・検討				① ・荏原高校の生徒より4月実施の菜の花・桜まつりでのイベント企画提案があり、地元町民らと打合せを実施。 ・4/5菜の花・桜まつりに荏原高校の生徒が参加し、ドッグラン運営、ドッグフード提供、フォトコンテストPRを行った。					
	5月					① ・5/2荏原高校の探求授業で益子町の概要や課題についての講話を実施。 ・荏原高校とR7年度の連携事項について打合せを実施					
	6月					①荏原高校とR7年度の連携事項について打合せを実施(継続)					
	i	①包括連携協定の締結相手である日本体育大学荏原高校との連携事業の実施・検討				①荏原高校とR7年度の連携事項について打合せを実施(継続)					
	8月					①荏原高校とR7年度の連携事項について打合せを実施(継続)					
	9月					① ・9/27,28 荏原高校文化祭へ益子町が出展。農産物や益子焼などの特産品販売や魅力PRを行った。 ・荏原高校の美術の授業で、益子町で出てしまう「陶器の破片」を活用した授業を実施。 ・荏原高校とR7年度の連携事項について打合せを実施(継続)					
	10月					①荏原高校とR7年度の連携事項について打合せを実施(継続)					
	11月	①包括連携協定の締結相手である日本体育大学荏原高校との連携事業の実施・検討				① ・11/13大林寺「良いもん市」での益子町特産品販売に荏原高校生徒9名および先生1名が販売等に協力 ・荏原高校とR7年度の連携事項について打合せを実施(継続)					
	12月					①荏原高校とR7年度および次年度以降の連携事項について打合せを実施(継続)					
	1月	①包括連携協定の締結相手である日本体育大学荏原高校との連携事業の実施・検討				① ・荏原高校の生徒よりR8年4月実施の葉の花・桜まつりでのイベント企画提案があり、町および地元町民らと打合せ実施 ・荏原高校とR8年度以降の連携について打合せを実施(継続)					
2月	①荏原高校とR8年度以降の連携事項について打合せを実施(継続)										
3月	① ・荏原高校の生徒より益子のコーヒーを起点とした認知度向上に関する企画提案があった。今後打合せを実施予定。 ・R8年春の大林寺「良いもん市」での益子町特産品販売に荏原高校生徒が販売等に協力予定で打合せ。										

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	① 日本体育大学荏原高校との連携協定は2年目となるが、益子町を題材にした探求授業の他、高校文化祭での益子の特産品販売やPR、益子の材料を活用した授業の実施検討、益子の廃棄食材を利用した食堂の運営検討など、より進んだ連携の話し合いが出来ている。 次期四半期はそれぞれの提案が良い形で実現できるよう、関係各所と打合せを行っていく。
第2 四半期	① 今期は、高校文化祭での益子の特産品販売やPR、益子の材料を活用した授業の実施などが実現できた。今後も益子町の課題を解決するようなプロジェクトの実施検討、益子の廃棄食材を利用した食堂の運営検討、次年度以降の連携などの打合せを行っていく。
第3 四半期	① 今期は、東京都大田区・大林寺で開催された「良いもん市」における益子町特産品販売で、日本体育大学荏原高校の生徒が現地で協力を行った。益子町・荏原高校・大林寺の三者連携により、人手不足解消や生徒の社会経験、賑わい創出といった相互の効果が確認できた。 次期四半期は、次年度以降の連携などの打合せを行っていく。
総括 (第4 四半期 含)	① 今年度は、菜の花・桜まつりや良いもん市での販売支援、文化祭出展、探求授業の実施などを通じて、地方の人手不足解消や生徒の社会経験などの機会創出につながり、包括連携が具体的な取組として機能した年度となった。また、陶片の授業活用など地域資源の新たな活用も図られた。 次年度以降は、お互いに負担が生じない持続可能な形で、双方にとって良い成果が得られる連携を構築し、関係人口の創出にも繋げていく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 包括連携協定は目標を達成しており、今後も情報の共有を図り、推進してください。	総括(第4四半期分含)のとおり進めるとともに、連携内容についてもさらなる充実を図る。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】

			課局名	総務課						
基礎目標	5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	行政経営の最適化						
施策	デジタルガバメントを推進する		進捗状況	100%						
関連する優先目標	—		関連するSDGs							
KPI	行政手続の電子化数		本年度目標値	60	現状値	33	件	対前年同期比	+3	件
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	⑤SNSやAI技術を用いた広報広聴の推進 ⑥オープンデータ公開の仕組みの構築に努める	⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	5月		⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	6月		⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	7月	⑤SNSやAI技術を用いた広報広聴の推進 ⑥オープンデータ公開の仕組みの構築に努める	⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	8月		⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	9月		⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	10月	⑤SNSやAI技術を用いた広報広聴の推進 ⑥オープンデータ公開の仕組みの構築に努める	⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	11月		⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	12月		⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	1月	⑤SNSやAI技術を用いた広報広聴の推進 ⑥オープンデータ公開の仕組みの構築に努める	⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	2月		⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							
	3月		⑤各課に町公式SNSへの記事掲載を依頼 ⑤町HP上にシナリオ型チャットボットを搭載 ⑥オープンデータ公開に係る仕組みについて検討							

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	⑤町公式SNSへの記事掲載を各課へ依頼。シナリオ型チャットボットの利用数は83件 ⑥オープンデータ公開の仕組みを構築し、利用に際して、各課へ周知を図っていきたい
第2 四半期	⑤町公式SNSへの記事掲載を引き続き各課へ依頼していく。シナリオ型チャットボットの利用数は110件 ⑥オープンデータ公開の仕組みを構築し、利用に際して、各課へ周知を図っていきたい
第3 四半期	⑤町公式SNSへの記事掲載を引き続き各課へ依頼していく。シナリオ型チャットボットの利用数は92件 ⑥オープンデータ公開の仕組みを構築し、利用に際して、各課へ周知を図っていきたい
総括 (第4 四半期 含)	⑤町公式SNSへの記事掲載を引き続き各課へ依頼していく。シナリオ型チャットボットの利用数は289件 ⑥オープンデータとして、「町の人口推移」を公開している。引き続き、公開について検討していきたい。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 今後はさらにRPA等の活用を行い業務の効率化・利便性の向上を図ってください。 シニア世代の人口比率が増えていく中、デジタルデバイド対策はシニア世代には効果があります。	引き続き情報のデジタル化を推進し、町民の利便性向上に努めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	総合政策課							
基礎目標			5 健全で次世代型の経営体をつくる	政策	行政経営の最適化						
施策			デジタルガバメントを推進する	進捗状況	100%						
関連する優先目標			—	関連するSDGs							
KPI			行政手続の電子化数	本年度目標値	60	現状値	33	件	対前年同期比	+3 件	
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
			①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月	①②行政手続きの電子化を進めるために、各課と伴走して電子化を進めていく。 ④RPA,AI-OCR事業について、職員へのヒアリング等により事業を選定し業務に対する実装化を進める。 ⑧デジタルデバйд対策として、継続事業として「スマホ教室」を開催する。			なし						
	5月				①5/22各課支援として税務課において窓口申請書の電子化に向け、LoGoフォーム研修を行った。 ⑧総務省のデジタル活用支援推進事業(スマホ教室)に採択された。						
	6月				①よろず相談(6/19)は観光商工課商工係において、今年度導入予定のデジタル地域通貨について相談があった。						
	7月	①②行政手続きの電子化を進めるために、各課と伴走して電子化を進めていく。 ④RPA,AI-OCR事業について、職員へのヒアリング等により事業を選定し業務に対する実装化を進める。 ⑧デジタルデバйд対策として、継続事業として「スマホ教室」を開催する。			①よろず相談(7/3)は福祉子育て課健康づくり係において、予防接種予約電子受付に関する相談があった。						
	8月				①④よろず相談(8/19)は税務課収納係において、税等の過誤納に対する還付請求書の電子化処理について相談があった。併せて、紙ベースの請求書をAI-OCRを活用し、電子データ化した。						
	9月				①よろず相談(9/18)は総務課総務係において、不在者投票申請受付について相談があった。 ⑧スマホ教室開催に向け、講師となる事業者と事前打ち合わせを行った。						
	10月	①②行政手続きの電子化を進めるために、各課と伴走して電子化を進めていく。 ④RPA,AI-OCR事業について、職員へのヒアリング等により事業を選定し業務に対する実装化を進める。 ⑧デジタルデバйд対策として、継続事業として「スマホ教室」を開催する。			①よろず相談(10/28)は生涯学習課文化係において、LoGoフォーム作成に関する相談があった。						
	11月				①④よろず相談(11/27)は総合政策課総合政策係において、統計調査に関してAI-OCRの活用ができないかの相談があった。 ⑧スマホ教室(11/20)を開催し、受講者は35名。						
	12月				①よろず相談(12/22)は学校教育課学校給食係において、LoGoフォーム作成に関する相談があった。 ⑧スマホ教室(12/2,4,11,16)を開催し、受講者はそれぞれ37名、34名、29名、34名。						
	1月	①②行政手続きの電子化を進めるために、各課と伴走して電子化を進めていく。 ④RPA,AI-OCR事業について、職員へのヒアリング等により事業を選定し業務に対する実装化を進める。 ⑧デジタルデバйд対策として、継続事業として「スマホ教室」を開催する。			①1/22-23BPR個別相談会に同席し、各課における業務に対し電子化活用について助言を行った。 ④1/19町村会共同調達説明会に参加し、次期導入予定のRPAの検討を行った。						
	2月				⑧デジタルデバйд対策の一環として、シニア世代向けスマートフォン購入費補助事業の要綱を策定						
	3月				⑧デジタルデバйд対策の一環として、シニア世代向けスマートフォン購入費補助事業実施に向け協力店舗との打合せを行った。						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①行政手続きの電子化の実装として導入した「LoGoフォーム」の活用については、今年度で3年目となり、職員の活用がより増えてきている。しかしながら、積極的に活用している部署・職員と活用していない部署・職員との温度差が大きいと感じられる。そのため、活用を促すことを目的に入庁3年目までを対象にLoGoフォーム研修を実施することを計画している。また、昨年度から継続して「DXよろず相談」を毎月開催することとした。 ④RPA, AI-OCR事業については、実装ありきではなく、業務改革できるかを検討したうえで実行できるよう進めていく。 ⑧総務省のデジタル活用支援推進事業を活用し、引き続きデジタルデバйд対策を行っていく。
第2 四半期	①LoGoフォームを活用し、一部の課において、新たな業務効率化の検討が進んできた。引き続きよろず相談を行い、全庁的に業務の電子化を進める。 ⑧スマホ教室の開催に向けて講師となる事業者と詳細な打合せを行った。次期四半期において実施に向けて資料作成及び周知を図る。
第3 四半期	①毎月よろず相談を行っており、昨年度と比較すると多少件数は伸びてはいるが、今年度支援した件については、最終的なホームページ公開に至っておらずKPI(行政手続きの電子化数)に結びついていない。 ④総務課において、ツールを活用し全庁的な業務改善(BPR)手順書の作成に着手してきた。今後は作成した手順書について、RPA, AI-OCRが活用できないかを検証していく。 ⑧デジタルデバйд対策として、11月と12月にスマホ教室を開催し、延べ169名の参加があった。参加者の多くは70代であった。受講後のアンケートでは約8割の参加者が「満足」という回答をし、9割の参加者が今後もスマホ教室を希望すると答えている。講座の中で特に参加者の反応が良く印象的だったのが、「生成AI」を活用するもので、高齢者層の関心が高いことがうかがえる。次期(次年度)以降も国の事業を活用し継続的に実施できるよう検討していく。
総括 (第4 四半期 含)	①②BPR個別相談会において、各課における業務に対して電子化への助言を行った。 ④今年度中に全庁的に業務改善(BPR)手順書を作成したので、次年度以降はこの手順書を検証し、RPAやAI-OCRが活用できないか原課とともに検討を進めていく。 ⑧デジタルデバйд対策として、国の事業を活用して「スマホ教室」を開催し、各講座とも8割以上の受講率であった。次年度において国の事業がないため、新たな施策を検討する必要がある。また、次年度においてシニア世代を対象としたスマートフォン購入費補助事業を実施していく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 今後はさらにRPA等の活用を行い業務の効率化・利便性の向上を図ってください。 シニア世代の人口比率が増えていく中、デジタルデバイス対策はシニア世代には効果があります。	総括(第4四半期含)のとおり進めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	町民くらし課								
基礎目標		5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	行政経営の最適化							
施策		デジタルガバメントを推進する		進捗状況	100%							
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—							
KPI		行政手続の電子化数		本年度目標値	60		現状値	33		件	対前年同期比	+3 件
KPI				本年度目標値			現状値				対前年同期比	
KPI				本年度目標値			現状値				対前年同期比	
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	①基幹系システムの標準化を図る ①標準化後のシステムの安定した運用に努める ①証明書発行や手続きについて電子化を推進する ③手数料の支払い方法のキャッシュレス化について検討する			①DX係と連携し基幹系システムの標準化について検討							
	5月				①DX係と連携し基幹系システムの標準化について検討 ①基幹系システムの標準化サーバーのラックへの搭載完了(5/30) ①基幹系システムの標準化対応説明会(5/8) ①ガバメントクラウドネットワーク委託業者との打合せ(5/15)							
	6月				①DX係と連携し基幹系システムの標準化について検討 ③かんたん窓口で証明書発行ができるようにシステム改修が完了(6/30)							
	7月	①基幹系システムの標準化を図る ①標準化後のシステムの安定した運用に努める ①証明書発行や手続きについて電子化を推進する ③手数料の支払い方法のキャッシュレス化について検討する			①DX係と連携し基幹系システムの標準化について検討し準備を整える ①かんたん窓口でマイナンバーカード関係の申請書等も打ち出しができるように種類を追加した							
	8月				①DX係と連携し基幹系システムの標準化について検討し準備を整える							
	9月				①基幹系システムの標準化が完了(9/10)							
	10月	①標準化後のシステムの安定した運用に努める ①証明書発行や手続きについて電子化を推進する ③手数料の支払い方法のキャッシュレス化について検討する			①システムの安定した運用のため、委託業者と連携を図った。 ①かんたん窓口の活用と証明書発行機器の活用を図った。							
	11月				①システムの安定した運用のため、委託業者と連携を図った。 ①かんたん窓口の活用と証明書発行機器の活用を図った。							
	12月				①システムの安定した運用のため、委託業者と連携を図った。 ①かんたん窓口の活用と証明書発行機器の活用を図った。							
	1月	①標準化後のシステムの安定した運営に努める ①証明書発行や手続きについて電子化を推進する ③手数料の支払い方法のキャッシュレス化について検討する			①システムの安定した運用のため、委託業者と連携を図った。 ①かんたん窓口の活用と証明書発行機器の活用を図った。							
	2月				①システムの安定した運用のため、委託業者と連携を図った。 ①かんたん窓口の活用と証明書発行機器の活用を図った。							
	3月				①システムの安定した運用のため、委託業者と連携を図った。 ①かんたん窓口の活用と証明書発行機器の活用を図った。							

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①9月に基幹系システムの標準化を予定しているため、DX推進係や実施事業者との連携を図りながら取り組んでいく。 ①かんたん窓口での証明書発行のシステム改修が終了したため、マイナンバーカードをお持ちの方には、申請書の記入を省略できる利点も含め、活用いただけるよう案内をしていく。また、マイナンバーカードでの証明書の発行に慣れてもらい、次回からは最寄りのコンビニで証明書の交付ができることを周知し、窓口の混雑緩和につなげて行きたい。
第2 四半期	①基幹系システムの標準化を無事に終了することができた。今後は、安定した運用が図れるようベンダー等と連携を図って行きたい。 ①窓口に設置したかんたん窓口証明書発行システムを利用する方も徐々に増えてきている状況にある。次回からは、最寄りのコンビニでも証明書が交付できることを周知していきたい。 ①かんたん窓口でマイナンバーカードの更新申請書、暗証番号変更申請書、返納届を出力できるようにしたことにより、記入いただく時間や説明する時間の短縮を図ることができ、業務の効率化につながっている。
第3 四半期	①標準化後何度かシステムのトラブルが発生(証明書の発行が短時間ではあるができないトラブル)したが、委託業者と連携を図り、対応することができた。 ①かんたん窓口を活用することにより、記入していただく時間の短縮が図れ、業務の効率化につながっている。 ①マイナンバーカードをお持ちの方にはできるだけ証明書発行機器での発行を促すようにしている。暗証番号がわからない方には暗証番号の再設定をしていただくなど、コンビニ交付等を活用していただけるよう促すように努めている。
総括 (第4 四半期 含)	①標準化後基幹系システムが、短時間ではあるがトラブルが発生したため、委託業者と連携し、基幹系システムを集約するスイッチの更新をしたり、ランケーブルの差し替えをしたりして対応を図った。 ①マイナンバーを使用するの証明書発行機器の活用を促すため、利用への声掛けや暗証番号の再設定を行うなどサポートを行っている。将来的にはコンビニでの交付につながるよう案内に努めている。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総 括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 今後も利用者の利便性を図ってください。	総括(第4半期含)のとおり進めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】				課局名	生涯学習課						
基礎目標		5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	行政経営の最適化						
施策		デジタルガバメントを推進する		進捗状況	100%						
関連する優先目標		—		関連するSDGs	—						
KPI	行政手続の電子化数			本年度目標値	60	現状値	33	件	対前年同期比	+3	件
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月	①生涯学習課所管の各施設について、予約手続きの電子化を導入したため、利便性の向上を図る。			①益子町総合体育館315件、町民センター体育施設131件 益子町北運動場体育館98件、益子町北公園18件 益子町南運動公園77件、益子町中央公民館154件 益子町民会館 42件、農村環境改善センター 49件 あぐり館52件						
	5月				①益子町総合体育館309件、町民センター体育施設141件 益子町北運動場体育館103件、益子町北公園11件 益子町南運動公園106件、益子町中央公民館157件 益子町民会館 63件、農村環境改善センター 46件 あぐり館53件						
	6月				①益子町総合体育館276件、町民センター体育施設131件 益子町北運動場体育館105件、益子町北公園18件 益子町南運動公園111件、益子町中央公民館162件 益子町民会館 62件、農村環境改善センター52件 あぐり館83件						
	7月	①生涯学習課所管の各施設について、予約手続きの電子化を導入したため、利便性の向上を図る。			①益子町総合体育館305件、町民センター体育施設144件 益子町北運動場体育館107件、益子町北公園 12件 益子町南運動公園89件、益子町中央公民館 176件 益子町民会館 69件、農村環境改善センター 62件 あぐり館107件						
	8月				①益子町総合体育館307件、町民センター体育施設107件 益子町北運動場体育館145件、益子町北公園 14件 益子町南運動公園105件、益子町中央公民館 175件 益子町民会館 81件、農村環境改善センター 45件 あぐり館 67件						
	9月				①益子町総合体育館281件、町民センター体育施設144件 益子町北運動場体育館101件、益子町北公園 16件 益子町南運動公園 95件、益子町中央公民館 194件 益子町民会館 83件、農村環境改善センター 66件 あぐり館 63件						
	10月				①益子町総合体育館349件、町民センター体育施設122件 益子町北運動場体育館114件、益子町北公園 9件 益子町南運動公園103件、益子町中央公民館 199件 益子町民会館 83件、農村環境改善センター 76件 あぐり館68件						
	11月	①生涯学習課所管の各施設について、予約手続きの電子化を導入したため、利便性の向上を図る。			①益子町総合体育館253件、町民センター体育施設137件 益子町北運動場体育館140件、益子町北公園 15件 益子町南運動公園85件、益子町中央公民館 182件 益子町民会館 79件、農村環境改善センター 79件 あぐり館 73件						
	12月				①益子町総合体育館293件、町民センター体育施設84件 益子町北運動場体育館101件、益子町北公園 53件 益子町南運動公園 46件、益子町中央公民館 144件 益子町民会館 80件、農村環境改善センター 75件 あぐり館 57件						
	1月	①生涯学習課所管の各施設について、予約手続きの電子化を導入したため、利便性の向上を図る。			①益子町総合体育館313件、町民センター体育施設125件 益子町北運動場体育館111件、益子町北公園 57件 益子町南運動公園 37件、益子町中央公民館 165件 益子町民会館 53件、農村環境改善センター 72件 あぐり館 64件						
	2月				①益子町総合体育館282件、町民センター体育施設103件 益子町北運動場体育館112件、益子町北公園 56件 益子町南運動公園 50件、益子町中央公民館 192件 益子町民会館 59件、農村環境改善センター 75件 あぐり館 93件						
	3月				①益子町総合体育館342件、町民センター体育施設132件 益子町北運動場体育館149件、益子町北公園 61件 益子町南運動公園 75件、益子町中央公民館 157件 益子町民会館 65件、農村環境改善センター 77件 あぐり館 60件						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①令和5年度に新たに公共施設予約システムを導入し、パソコンやスマートフォン等から公共施設の空き状況の確認や予約をすることが可能となった。 システムの利便性の向上や登録者増に向けて周知をしていく。
第2 四半期	①令和5年度に新たに公共施設予約システムを導入し、パソコンやスマートフォン等から公共施設の空き状況の確認や予約をすることが可能となった。 システムの利便性の向上や登録者増に向けて周知をしていく。 ①利便性向上の為、10月にシステム会社と打ち合わせを行い、システム改修に向け相談をする。
第3 四半期	①11月にシステム会社と打合せを行い、改善要望を伝えた。 来年度、システム改修に向けて新年度予算計上済。
総括 (第4 四半期 含)	①利便性向上のため、ホームページのホーム画面に公共施設予約システムのアイコンを設置してもらい、検索しなくてもシステム予約画面に飛べるように改善してもらった。 ①令和8年度は本格的なシステム改修を行う。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 公共施設予約システムを活用し業務の効率化等を図るとともに、利用者の更なる利便性を図ってください。8年度はシステムの改修を行うとのこと、利用者の意見等確認してください。	管理者(町)、利用者の更なる利便性を図っていくとともに、システム改修後の意見を利用者から聞き取りを行っていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	総務課							
基礎目標			5 健全で次世代型の経営体をつくる	政策	行政経営の最適化						
施策			幅広い視野を持つ職員を育成する	進捗状況	100%						
関連する優先目標			—	関連するSDGs	—						
KPI			「職員に対する住民満足度」の割合	本年度目標値	85.0	現状値	83.9	%	対前年同期比	+1.2	%
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI				本年度目標値		現状値			対前年同期比		
			①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①さまざまな職員研修を通じ、職員の育成を図る ②任期付職員の採用について、必要に応じ検討する ③人事評価制度を通じ、資質の向上を図る			①職員研修の実施 1件 2人受講 ③各課において目標編成表の作成						
	5月				①職員研修の実施 9件 24人受講 ③個人目標の設定、目標設定面談の実施						
	6月				①職員研修の実施 6件 14人受講						
	7月	①さまざまな職員研修を通じ、職員の育成を図る ②任期付職員の採用について、必要に応じ検討する ③人事評価制度を通じ、資質の向上を図る			①職員研修の実施 9件 28人受講						
	8月				①職員研修の実施 3件 11人受講						
	9月				①職員研修の実施 4件 17人受講 ③中間面談を実施						
	10月	①さまざまな職員研修を通じ、職員の育成を図る ②任期付職員の採用について、必要に応じ検討する ③人事評価制度を通じ、資質の向上を図る			①職員研修の実施 5件 12人受講						
	11月				①職員研修の実施 2件 5人受講						
	12月				①職員研修の実施 1件 1人受講						
	1月	①さまざまな職員研修を通じ、職員の育成を図る ②任期付職員の採用について、必要に応じ検討する ③人事評価制度を通じ、資質の向上を図る			①職員研修の実施 1件 2人受講						
	2月				なし						
	3月				①職員研修の実施 1件 2人受講 ②管理栄養士1名、町有バス運転手1名採用 ③フィードバック面談(各課)実施						

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①引き続き計画的に研修を実施 ②引き続き計画的な採用を検討 ③評価制度に対する疑問点等に対処していく
第2 四半期	①引き続き計画的に研修を実施 ②引き続き計画的な採用を検討 ③評価制度に対する疑問点等に対処していく
第3 四半期	①引き続き計画的に研修を実施 ②引き続き計画的な採用を検討 ③評価制度に対する疑問点等に対処していく
総括 (第4 四半期 含)	①引き続き計画的に研修を実施 ②引き続き計画的な採用を検討 ③評価制度に対する疑問点等に対処していく

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 今後も計画的に職員研修と人事評価制度を行い、働き方改革と行政サービスの向上につとめてください。	次年度以降も計画的に職員研修や人事評価制度を活用し、働き方改革や行政サービスの向上に努めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	総合政策課						
基礎目標	5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	行政経営の最適化						
施策	幅広い視野を持つ職員を育成する		進捗状況	100%						
関連する優先目標	—		関連するSDGs							
KPI	「職員に対する住民満足度」の割合		本年度目標値	85	現状値	83.9	%	対前年同期比	+1.2	%
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果						
主な取組内容	4月	⑤庁内のDX推進に向け、職員の意識改革を行う	⑤4/19CDO補佐官との定例打合せ(WEB)							
	5月		⑤5/13係長級以下職員対象にアンケート実施(5/30期限) 5/21CDO補佐官との定例打合せ(WEB)							
	6月		⑤6/17CDO補佐官との定例打合せ(WEB)							
	7月	⑤庁内のDX推進に向け、職員の意識改革を行う	⑤7/1-8/30テレワーク試行(各課2名) 7/10部長打合せ 7/16CDO補佐官との定例打合せ(WEB)							
	8月		⑤8/18CDO補佐官との定例打合せ(WEB) 8/19CDO補佐官との打合せ(対面)							
	9月		⑤9/24常勤職員へLoGoチャットアカウント配布 9/26CDO補佐官との定例打合せ(WEB)							
	10月	⑤庁内のDX推進に向け、職員の意識改革を行う	⑤10/2町長・副町長打合せ 10/7-10/8窓口受付時間のあり方に関する各課ヒアリング 10/30CDO補佐官との定例打合せ(WEB)							
	11月		⑤11/12CDO補佐官との定例打合せ(WEB) 11/19係長級以下職員対象にICTに関するアンケート実施(12/15期限)							
	12月		⑤12/9CDO補佐官との定例打合せ(WEB) 12/23部長打合せ							
	1月	⑤庁内のDX推進に向け、職員の意識改革を行う	⑤1/9町長・副町長打合せ 1/26部長打合せ 1/26CDO補佐官との定例打合せ(WEB)							
	2月		⑤2/17町長・副町長打合せ 2/26CDO補佐官との定例打合せ(対面)							
	3月		⑤3/19開庁時間のあり方検討部会(第1回) 3/23CDO補佐官との定例打合せ(対面)							

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	⑤ CDO補佐官との打合せにおいて、今年度の取組について意見交換を行った。 また、職員の現状把握のため職員アンケートを実施した。アンケート集計し、今後の方向性について次期四半期で検討し決定していく。
第2 四半期	⑤ ・5月に実施した職員アンケート結果を基に、常勤職員を対象とした職員間の情報共有ツールとしてLoGoチャットの活用を開始した。 ・7月1日から全庁的にテレワークを試行し、実体験をもとに働き方のあり方についてアンケートを実施した。実際にテレワークを行った職員からはDX推進に向け必要な業務改善の具体的な取り組みについて意見があった。 ・DXを進めるうえで、働き方改革が必要となり、窓口受付時間のあり方について、検討することとなった。事前調査として8/22から9/11まで来庁者の実態調査を行った。 ・次期四半期においては、働き方改革の推進に向け、関係部署と調整を図っていく。
第3 四半期	⑤ ・働き方改革の一環として、窓口受付時間のあり方について、実態調査結果を庁内で共有し検討を進めている。 また、前四半期で行ったテレワーク試行に関して、次期四半期において今後の方向性を関係部署と調整検討を行う。 ・DX推進に向け、人材育成方針に基づきDXデジタル人材育成計画を作成するにあたり、基礎指標となるデータを集積するためアンケート調査を実施した。次期四半期でアンケート結果を分析し、人材育成計画の策定を進めていく。また、人材育成に観点から人事部局とのすり合わせを併行して実施していく。
総括 (第4 四半期 含)	⑤ ・職員の意識改革のきっかけづくりとして働き方改革を進めることで町長と打合せを行った。この打合せにより今後の方針が決定し、窓口受付時間のあり方について、内部検討部会を設置し本格的に検討を行うことになった。併せてテレワークの試行についても継続して検討を進めていく。次年度においても内部検討部会を開催し、継続的に検討を行っていく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 ○ B:改善・見直し C:廃止・終了 意見・提言 働き方改革は必要不可欠であり、職員の意識改革を推進してください。	総括(第4四半期含)のとおり進めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

			課局名	総合政策課						
基礎目標	5 健全で次世代型の経営体をつくる		政策	協働のまちづくり						
施策	持続可能な地域社会づくりの推進		進捗状況	100%						
関連する優先目標	2「住みたいまち」		関連するSDGs	17パートナースhip						
KPI	地域社会づくりに向けた話し合いの場の設置数	本年度目標値	5	現状値	5	件	対前年同期比	+2	件	
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比			
KPI		本年度目標値		現状値			対前年同期比			
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	①旧大羽・山本・小宅小学校区の地域の現状分析のため、地域住民からのヒアリングを実施する。 ②自治会を超えた範囲での、持続可能な地域社会づくりのための話し合いの場づくりの支援、課題解決に向けた継続支援、事業推進体制等の検討を実施する。	②旧大羽・山本・小宅小学校区で「かわらばん」を発行。							
	5月		①5/21(水)小宅西自治会長、5/23(金)芦沼自治会長へ自治会の現状や他自治との関わりなどについてヒアリングを実施。 ①②旧大羽小学校区で自治会長、育成会長との話し合いを実施。 ②旧大羽小学校区で「かわらばん」を発行。							
	6月		①6/7(土)大平自治会長、舟橋自治会長、6/25(水)小宅東自治会長へ自治会の現状や他自治会との関わりなどについてヒアリングを実施。 ②旧大羽・山本小学校区で「かわらばん」を発行。							
	7月	①旧大羽・山本・小宅小学校区の地域の現状分析のため、地域住民からのヒアリングを実施する。 ②自治会を超えた範囲での、持続可能な地域社会づくりのための話し合いの場づくりの支援、課題解決に向けた継続支援、事業推進体制等の検討を実施する。	①大平環境保全会と県水土里ネット「とちぎ調査隊」との生き物調査取材。 ②旧小宅・山本小学校区で「かわらばん」を発行。							
	8月		①あしぬま自然環境保全会と小宅東育成会との合同生き物調査取材。 ①上大羽・下大羽育成会合同レクリエーション取材。 ②旧大羽小学校区で「かわらばん」を発行。							
	9月		②旧小宅小学校区で「かわらばん」を発行。							
	10月	①旧大羽・山本・小宅小学校区の地域の現状分析のため、地域住民からのヒアリングを実施する。 ②自治会を超えた範囲での、持続可能な地域社会づくりのための話し合いの場づくりの支援、課題解決に向けた継続支援、事業推進体制等の検討を実施する。	②旧大羽・山本小学校区で「かわらばん」を発行							
	11月		①旧大羽・山本小学校区の自治会のお祭りを取材。 ②旧大羽・山本・小宅小学校区で「かわらばん」を発行							
	12月		②旧大羽・山本小学校区で「かわらばん」を発行							
	1月	①旧大羽・山本・小宅小学校区の地域の現状分析のため、地域住民からのヒアリングを実施する。 ②自治会を超えた範囲での、持続可能な地域社会づくりのための話し合いの場づくりの支援、課題解決に向けた継続支援、事業推進体制等の検討を実施する。	②旧大羽小学校区で「かわらばん」を発行							
	2月		①②旧大羽小学校区の3自治会の代表者(自治会、育成会)と3自治会合同イベントについて、今後に向けた話し合いを実施 ②旧大羽・山本小学校区で「かわらばん」を発行							
	3月		②旧小宅・山本小学校区で「かわらばん」を発行 ②旧小宅小学校区で5自治会で、自治会のくらしの情報をまとめた「くらしのガイド」をそれぞれ作成し、発行した。							

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①②昨年度に引き続き話し合いの場の継続支援として、旧大羽小学校区で自治会長・新旧育成会長による話し合いを行った。昨年度からの育成会の合同行事の開催について、前回の振り返りや今後の進め方について協議した。 さらに昨年末に開催した、旧小宅小学校区では、全5自治会ともに自治会長が交代となったため、改めて自治会についてのヒアリングを実施した。今後は、支援の在り方について検討する。 また、旧大羽・山本・小宅小学校区で「かわらばん」を発行し、地域の情報共有に努めた。
第2 四半期	①②旧大羽・山本・小宅小学校区内の自治会の生き物調査やお祭りなどの取材を行い、「かわらばん」により情報共有に努めた。 また、今後は旧小宅小学校区で各自治会にヒアリングしながら「くらしのガイド」の作成を進める。
第3 四半期	①②旧大羽・山本・小宅小学校区内の自治会のお祭りや暮らしに関する取材を行い、「かわらばん」により情報共有に努めた。 今後は旧小宅小学校区で引き続き「くらしのガイド」の作成を進める。
総括 (第4 四半期 含)	①②地域のイベント・祭りの取材や地域の方とお話を通して、地域の情報をまとめ、「かわらばん」により共有することができた。また、旧小宅小学校区の5自治会では、自治会内の情報をまとめた「くらしのガイド」を発行し、自治会内のより詳細な情報をお伝えするとともに、移住検討者からの相談、移住者への情報共有などでも活用していく。 引き続き、地域の方のお話を聞きながら、次年度以降の支援のあり方を検討する。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 B:改善・見直し ○ C:廃止・終了 意見・提言 地域の意見を聞き、「持続可能な地域づくり」を推進してください。	自治会長や地域の方との意見交換を行うとともに、地域の行事の情報共有などにより地域づくりに努めていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R7(2025)

シート1【 計画・実施状況シート 】

シート1【 計画・実施状況シート 】			課局名	生涯学習課						
基礎目標		5 健全で次世代型の経営体をつくる	政策	協働のまちづくり						
施策		町民活動への支援	進捗状況	100%						
関連する優先目標		—	関連するSDGs	17パートナースhip						
KPI		町民活動団体データベース登録団体数	本年度目標値	45	現状値	20	団体	対前年同期比	△1	団体
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
KPI			本年度目標値		現状値			対前年同期比		
		①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①町民団体やボランティア団体の情報の集約 ①先進事例の情報収集			①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	5月				①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	6月				①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	7月	①町民団体やボランティア団体の情報の集約 ①先進事例の情報収集			①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	8月				①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	9月				①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	10月	①町民団体やボランティア団体の情報の集約 ①先進事例の情報収集			①町民活動団体等の情報提供依頼 町内各課局、関係団体					
	11月				①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	12月				①町民団体等のホームページ掲載 (掲載合計20団体)					
	1月	①町民団体やボランティア団体の情報の集約 ①町民活動団体等の紹介			①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	2月				①町民団体やボランティア団体の情報の収集					
	3月				①町民団体やボランティア団体の情報の収集					

シート2【 四半期検証シート 】

	③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等
第1 四半期	①町所管課から団体データを吸い上げ、町民団体やボランティア団体等の情報を集約しデータ化を図る。 ①各課所管の団体が大多数を占めるため、登録可能な団体かどうか各課において適宜確認する。
第3 四半期	①町民団体やボランティア団体等の情報収集方法及び内容の検討を行うとともに、各課及び関係機関に団体の情報提供について依頼をし、第4四半期において、町ホームページ内に掲載する予定。
第3 四半期	①町民団体やボランティア団体等の情報収集方法及び内容の検討を行うとともに、各課及び関係機関に団体の情報提供について依頼をし、町ホームページ内に掲載した。
総括 (第4 四半期 含)	①引き続き、次年度に向けて掲載団体を増やすため情報の収集を図っていく。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	継続性について A:このまま継続 B:改善・見直し ○ C:廃止・終了 意見・提言 今後も民間団体やボランティア団体の情報共有を図り、 推進してください。	各課より情報提供をいただき、団体の情報収集及び発信(ホームページの更新)を行っていく。